

日本地質学会関東支部シンポジウム

関東のテフラ

—最近の年代観と供給源—

1/25 (土) 10:00-16:30

北とぴあ第一研修室

1970年代に大磯丘陵などの詳細なフィールド調査から発展した関東地方のテフラ研究も半世紀を迎えようとしています。その間、多くの火山の噴火史が明らかになり、また広域テフラの年代精度も向上しました。日本地質学会関東支部では、関東地方に分布するテフラを中心に最新の研究成果に関するシンポジウムを開催いたします。

「富士・箱根～伊豆諸島北部にかけての爆発的なテフラ噴火史」

小林 淳 (静岡県富士山世界遺産センター)

「三浦半島宮田層中のテフラから得られた FT、U-Pb 年代」

笠間友博 (箱根町立箱根ジオミュージアム)

「上総・下総層群における海水準変動と更新世テフラの層位」

中里裕臣 (農研機構)

「関東平野内陸部地下の下総層群の堆積サイクルとテフラ層序」

中澤 努 (産総研)

「南関東における新第三紀 / 第四紀境界層準の指標テフラ」

田村糸子 (首都大学東京)

「関東まで飛んできた鮮新世以降の九州起源のテフラ」

水野清秀 (産総研)

「上総層群のテフラから復元する東北日本弧における巨大噴火史と関東平野の形成史」

鈴木毅彦 (首都大学東京)

【期日】 令和2年1月25日 (土)

10:00 ~ 16:30

【場所】 「北とぴあ」第一研修室

JR 京浜東北線王子駅徒歩5分

地下鉄南北線出口直結

【参加費】 無料、事前申し込み不要

【要旨集】 有料 (一般 1,000 円、学生 500 円)

【対象】 日本地質学会会員および一般 (非会員)

【CPD 単位】 取得可能 (5 単位)

詳しくは日本地質学会関東支部の web をご覧ください。

<http://www.geosociety.jp/outline/content0201.html>

【問い合わせ先】 日本地質学会関東支部幹事長 笠間友博

(箱根町立箱根ジオミュージアム)

geotracks.hakone@outlook.jp

電話 0460-83-8140